

令和6年度：第11期事業計画

(2024年4月1日～2025年3月31日)

◆協会のあるべき姿

寝具寝装品業界に携わる就業人口は推定195,000人、その企業（店舗）数は約30,000社の規模の業界です。本協会は寝具寝装品産業の振興と普及活動を継続的にを行い、寝具寝装品の健全なる発展と共に国民生活の向上に寄与することを目的とします。

◆JBAの事業の方向性：外部環境をしっかりと分析

令和6年は昨年の暖冬や市場の巣ごもり需要から外への消費行動の影響もあり、一部の事業のラベル収入は減りますが、会員企業の皆様に年会費の改定のご協力をお願いし、ヘルスケア認定寝具の申請アイテム及び表示方法の追加で取り扱いを増やし、11期を迎える睡眠環境・寝具指導士は認定試験受験者の多方面への拡大推進をお願いして収入を増やしてまいります。

またラベル作成に関わる業務委託費は減少、システムの減価償却も終わり経費削減を図ります。そして来期以降は再び黒字に転じるよう運営に努めます。

委員会活動を積極的に活用、協会内外に向けての情報発信力も高めてまいります。

1. 積極的に攻勢をかける事業の管理運営・普及促進

(1) ヘルスケア認定寝具™制度の推進施策

- ・経済産業省ヘルスケア産業課の「ヘルスケアサービスガイドライン等のあり方」に伴う「JBAヘルスケア認定寝具制度」規程の改定。SIPとの連携。
- ・ヘルスケア認定寝具を災害時の備蓄支援物資「防災型」追加策定の働きかけ。
- ・経済産業省ヘルスケア自主宣言マークの周知不足の解消。
- ・認定マーク表示方法の追加。取り扱いがし易くなって申請件数増につなげる。

(2) 睡眠環境寝具指導士®(Sleeping Environment & Bedding goods Instructor)の管理・運営

- ・委員会の協力のもと、8月8日開催「第11期資格認定試験」の告知活動の強化、協力関連団体よりSNSで多方面に情報の拡散をお願い。会員及び非会員企業、繊維関連団体、異業種、一般の方から広く受験者を獲得する。（前年比150%）
- ・受験者拡大の一環として、同日同時刻開催の遠隔地試験の実施。
- ・SBI資格保有者約560名に対する教育の充実。他資格との優位性の確立。
- ・日本睡眠環境学会と連携（9月学術大会講演視聴）の実施。
- ・WEBでの「マイページ」精度向上とシステム改善で更新率の向上に繋げる。

2. 強みで脅威を対処する事業

J-TAS：羽毛原料・羽毛製品トレーサビリティ認証システムの普及推進事業

羽毛原料やエネルギー、運送費の高騰、円安、鳥インフルエンザ、人件費アップ等が羽毛ふとんの生産コストの上昇を招いている。弊協会未加盟企業などが利益確保や販売価格の維持に走り原産国や品質について異なる内容の表示や不適切な混合等、消費者を欺く行為も発生しやすい環境になりうるものが危惧される。

製造現場や販売店店頭で7年前の産地偽装問題の未経験従事者が増えている。関係する全ての人に、改めて羽毛原料のトレーサビリティの重要性や仕組みを理解してもらいJ-TAS認証のある商品の取り扱いを認識してもらう必要がある。施策として、

- ・新たな機能としてスマホでQRコードを読み取り当該製品のトレース内容を店頭で確認できるシステムの導入を準備、店頭・消費者に身近に活用をいただく。
- ・J-TAS ラベルを扱う会員企業を増やす活動は継続。

3. 課題と対策：新規事業について

(1) 循環プラットフォーム「寝具寝装品の回収・循環・再生」に向けた取組の検討

- ・敷ふとんやまくらに多く使用されているウレタンフォームの循環型リサイクルは関連団体や製造企業様と連携し回収スキームや再生方法の検討を開始。
- ・家庭内の古ふとん在庫回収についての検証を関係省庁と協力して行う。
- ・工場から出る端材を利用した循環型システムの実証実験は、廃棄に係る現状費用との格差、分別方法、再生する企業の選定等課題は多いが引き続き取り組む。

(2) 「ふとんクリーニング&羽毛ふとんリフォームキャンペーン」の開催

- ・閑散期の「ふとんクリーニング&羽毛ふとんリフォームキャンペーン」の実施。
- ・初年度はクリーニング店でのポスター掲示を主軸に「ふとんは洗える」「羽毛ふとんはリフォームで永く使える」ことを消費者に広く周知。
- ・クリーニング店からリフォーム工場への誘導ができるよう橋渡し役を担う。
- ・クリーニング店、工場従事者を対象に寝具知識の基本とクリーニング手法の向上、羽毛ふとんリフォームに関する知識の講習会実施も検討。

4. 関係省庁（内閣府防災、経済産業省、地方自治体）への具申について

「ヘルスケア認定寝具」の必要性を具申

- ・災害避難時の睡眠環境に関わる二次健康被害防止。「防災」項目の追加。
- ・災害救助法指定の主要8品目に毛布以外にふとんの備蓄の必要性。
- ・全段連のダンボールベッドとふとんサイズの連携。

5. 寝具寝装品業界の振興を目的とした JBA と関連団体との協力事業

(1) (一社)日本睡眠環境学会との SBI 睡眠環境寝具指導士事業

- ・ 第 11 期の資格認定試験 (8 月 8 日)、睡眠環境学会学術大会 (有資格者教育セミナー (9 月開催予定)、その他有資格者向け教育セミナー一年 1 回を予定。

(2) (公財)神経研究所・睡眠健康機構との「9 月、3 月すいみんの日」事業

- ・ 全国の中高を対象とした「睡眠の勉強会」学校教育への支援。
- ・ 「睡眠環境と寝具の選び方」消費者啓蒙、外部団体での講演活動に積極的参加。

(3) (一社)日本アパレル・ファッション産業協会(JAFIC)との「J[∞]QUALITY」事業

- ・ 品質を限りなく追求した日本製を訴求する「J[∞]QUALITY」は、JAFIC と協力し普及活動を継続する。

以上